

駒ヶ根民報

No.1355

2016.2.28
日本共産党
駒ヶ根市委員会
Tel 83-2969

駒ヶ根市議会3月定例会開会 予算、条例、補正予算など38件

2月24日平成28年度第1回駒ヶ根市議会定例会が開会され議案38件上程されました。

一般会計予算の総額は160億7300万円で前年度当初予算比7800万円の増で、3年連続増加し、2年連続の過去最大規模です。

特別会計と企業会計の合計は109億1945万円で、3億3443万円の増。

平成28年度予算総額は、269億9245万円。

将来負担比率の見込みでは、平成27年177%程度、28年見通しは174%程度であります。年度途中で、第3セクター等改革推進債を活用して、駒ヶ根観光開発株式会社と駒ヶ根土地開発公社の抜本的改革で、プラス31%の205%程度の見通しです。

共産党議員団は、新年度予算編成にあたり、19項目の施策について市長に申し入れして

きましたが、いくつかの点で予算に盛り込まれました。



保育料の第2子半額・第3子無料には、新たに年収360万未満世帯に、年齢制限を撤廃し、第2子は半額に軽減し、第3子以降の保育料は無料となります。

ひとり親世帯の保育料は、年収360万未満世帯、第1子半額第2子以降は無料になります。

住宅リフォーム助成については、定住支援にシフトし、新たに若者住宅取得補助や、上下水道定住促進補助を行います。

国民健康保険特別会計

予算額は36億3617万円で2億9504万円の増です。被保険者数が減少傾向にある一方、保健給付費の医療費が大幅に増加し、2億2500万円の財源不足の見通し。

保険税の引き上げと

一般財源追加繰り入れ
このうち1億1000万円は平均18.76%の税率引き上げによる保険税の収入増をあて、残り1億1500万円は一般会計からの追加繰り入れにより対応するものです。

平成23年度に引き上げし5年間維持してきましたが、平成26年度に前期高齢者交付金の大幅な減額により、一般会計からの繰り入れをして厳しい運営となっております。

平成29年度までの医療費を見込んでいますが、国保加入者の所得が落ち込んでいる現状では、負担の大幅な増加はさらに厳しい生活にならざるをえません。

市議会全員協議会の報告

土地開発公社の事業では、平成27年度末の簿価総額は、23億2千万円です。

28年度の事業計画は、年度途中における第3セクター改

革推進債を活用した改革を控えた中で、当面赤須ヶ丘タウン2区画の売却等の計画です。

駒ヶ根観光開発株式会社

の事業は、平成27年度決算見込みで4億7900万円、前年比101.7%と見込んでいます。最終損益は2800万円（前期は4580万円の損失）の見込み。

平成28年度は駒ヶ根市主導による第3セクター等の抜本的な改革を進める中で、長年にわたり携わってきた「すずらん荘」「こまくさの湯」の指定管理が終了し、「ビューホテル四季」については年内の営業譲渡を前提に12月までの事業計画です。

営業譲渡が完了した段階で会社の整理に着手する予定です。

駒ヶ根高原温泉開発株式会社

会社、平成27年度経営状況は、4月の3号井ポンプの故障に伴う経費が増加したものの、税引き前当期純利益で426万4千円の見込みです。

28年度は予備ポンプ等の必要な機械設備の更新を図ります。長期的には市の温泉開発基金造成による新しく5号源泉開発も視野に入れていますが、今まで温泉掘索に成功しているとはいえず、今までの繰り返しにならないよう、慎重な対応が求められています。

駒ヶ根市議会 第1回(3月)定例市議会日程

2月23日(火)	議会全員協議会
2月24日(水)	市議会開会 提案説明 質疑
2月25日(木)	一般質問通告
2月26日(金)	質問ヒヤリング
3月7日(月)	一般質問
8日(火)	一般質問
9日(水)	総務委員会
10日(木)	建設産業委員会
11日(金)	教育民生委員会
14日、15日	予備日
17日(木)	議会運営委員会
18日(金)	本会議 委員長報告 質疑 討論 採決